

ぶり 鰯 到来！ - 大漁の記憶 -

～図書館所蔵写真から～

ぶりの幼魚モジャコは黒潮によってワカシ、イナダ（ハマチ）、ワラサ（メジロ）と成長しながら北上し、三陸沖でブリとなり産卵のため南下する。相模湾に戻ってくるのは冬から春にかけての「寒ブリ」。それを定置網で捕る漁場は江戸時代からあったが、1909(明治42)年真鶴漁場で、それまでの藁縄製の根拵網（根子才網）に代えて麻糸を利用した大型の大敷網を導入してから、西湘地域は日本有数のブリシキ漁場に躍り出る。

1912(大正元)年に小八幡漁場で大謀網、1935(昭和10)年に米神・真鶴漁場で落とし網を導入するなど網の改良を続け、以後約50年間の豊漁は地域の産業や景気・経済に大きな影響を及ぼした。

西湘地域の定置網漁場は西から真鶴、岩江（岩・江之浦）、米神、早川、小八幡、五ツ浦（前川）で、12月から5月の冬期には大型の鰯定置網を張り立て、6月からの夏期は鱈・鯖用の小形の定置網を設置した。漁場や漁船に真っ赤な大漁旗がはためくと、途端に浜は活気づく。

鰯に限らず、存外の大漁に際しては、網主や船主が祝いの手拭いや万祝（法被）用の反物を配った。網子や漁師たちは仕立てた万祝を着て、魚市場や網主・船主宅へ挨拶に廻るのを常とした。時に、豊漁期の「仕舞えの勘定」が済むと、大漁御礼のため汽車1車両を貸し切って関係者一同を伊勢神宮や成田山への参詣に招待する網主もあった。



1934(昭和9)年12月17日 大謀網の張り立て（小八幡漁場）



1954(昭和29)年4月22日 小田原魚市場前の浜での競り

戦後、空前の鰯の豊漁が1954(昭和29)年4月にやってくる。前月、ビキニ環礁での水爆実験により第五福竜丸らが被爆し、鰯が売れなくなる騒ぎがあったばかりである。被爆鰯の風聞がさめやらない60年前の4月1～2日、まず岩江漁場で計27,000尾の大漁が記録された。11日の嵐が過ぎ去った後には真鶴・岩江・米神・小八幡の各漁場が鰯大漁に沸いた。さらに、22日の米神漁場では1日で23,000尾の漁獲となり、結局、このシーズンの西湘6漁場の鰯漁獲総計は57万尾を超えた。

藤田西湖のスクラップブック ～収蔵資料の紹介～

当図書館の特別集書のなかで、もっとも閲覧されているとあってよいのが「藤田西湖文庫」である。藤田西湖氏の蔵書1411点のほか、日本の古武道に関する古文書・古書（筆写本を含む）1246点と卷子605点からなるコレクションで、とくに伝統武術関係の古文書や武道等免許の巻き物は海外からの閲覧者も多い。藤田氏没後、1974(昭和49)年、妻菊枝さん（当時東京都文京区）より藤田氏の墓所（市内飯泉勝福寺）のある小田原市へ一括寄贈され、公開されている。『神奈川新聞』1974年3月3日掲載「甲賀流忍術“凶書寄贈の術”」と題した記事によれば、藤田氏は勝福寺の故峰堅雅住職と親交があり、生前からの本人の希望で同寺に葬られることになったとある。また、収集した資料・蔵書は散逸させてはならないという同氏の遺言に従い、何度か墓参に訪れた婦人が小田原市へ寄贈を申し出て実現したとされる。

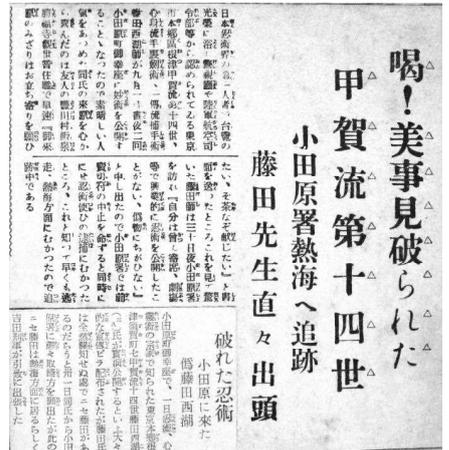
藤田西湖氏（本名藤田登、1899～1946年）は甲賀流忍術14世を自称し、かつて「最後の忍者」と呼ばれた。戦前から新聞・雑誌で取り上げられ、ラジオやテレビにも出演した。1958(昭和33)年に日本武術研究所を設立、拳法・忍術等の著作を著している。その波乱に満ちた生涯については、自叙伝『どろんろん－最後の忍者－』（日本新風社、1958年）に詳しいが、残念ながら虚実^{なま}交ぜで、その人物像の評価も分かれる。



スクラップブック



1921(大正10)年 心霊術の道場破り



1936(昭和11)年 藤田西湖のにせ者現る

さて、その蔵書中に藤田氏自身が新聞・雑誌等の切り抜きを貼り付けたスクラップブックが2冊（資料No.484・485）ある。多くは藤田氏を取り上げた記事で、1冊目には1920(大正9)年から1931(昭和6)年ころまでがスクラップされており、2冊目には1936～41(同11～16)年のものを中心に、新聞・チラシ等も挟まれている。後者にスクラップされた『東海新報』1936年9月1日の記事によれば、全国各地で講演・実演会に出演して知名度のあった藤田西湖のにせ者が小田原に現れたとある。にせ者一味が小田原御幸座^{みゆき}で興行しよう宣伝をうち、それを知った峰住職が久しぶりに再会できると藤田氏本人に連絡をとった所からことが発覚。にせ者らは小田原緑町に住む藤田氏義兄の医師栗田誠一氏^とに取り成しを頼むが断られ、逃亡先の熱海^{あたま}で警察に捕縛されたという。つまり嫁いだ藤田氏の姉が小田原におり、その縁でたびたび小田原を訪れていた。そのような藤田氏と小田原との古くからの関係が読み取れる。

小田原市立図書館地域資料室 利用案内

小田原市立図書館(星崎記念館)2階
 年中無休(第4月曜の特別整理日、年末年始を除く)
 資料の出納・ご相談は9時～12時、13時～16時45分に承ります
 室内の資料は原則貸し出しいたしません
 *貴重資料の閲覧：事前の閲覧申請・ご予約をお願いいたします

【編集後記】

地域資料室前にて、写真展示「鱒到来！一大漁の記憶」を始めました。図書館にお越しの際には、ぜひご覧ください。